

令和4年2月

**令和3年度歩行者セーフティ
「ピカッと守る・ふくしま運動」
第3回反射材用品等着用実態調査結果（最終）**

福島県警察本部
交通部交通企画課

1 調査日時

令和4年2月7日（月）から同年2月10日（木）までの間

※ 各日午後5時30分から午後6時30分までの間

2 調査対象

65歳以上の高齢歩行者 770人

3 調査場所

各モデル地区内のスーパー、コンビニエンスストア等商業施設、バス停留所及び住宅街など高齢歩行者が通行する機会の多い道路等

4 調査方法

歩行者の年齢を聴取の上、反射材用品等の着用の有無について調査した。

5 調査結果

(1) 全体の着用率

770人中373人着用

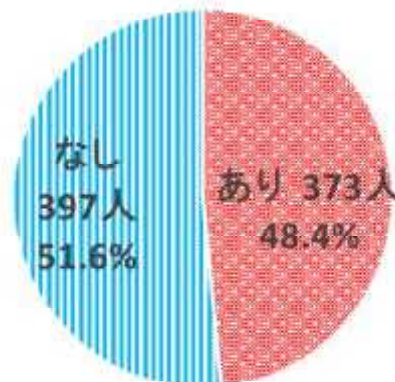
(着用率48.4%)

○ 第1回調査結果の37.0%から

11.4ポイント増加した。

(着用率の推移は、下記(2)ウ参照)

着用状況



(2) 地域別着用率

ア 地域別着用率

地域	着用	非着用	着用率
県北	83人	77人	51.9%
県中	95人	105人	47.5%
県南	25人	25人	50.0%
会津	83人	77人	51.9%
いわき	64人	66人	49.2%
相双	23人	47人	32.9%
全体	373人	397人	48.4%

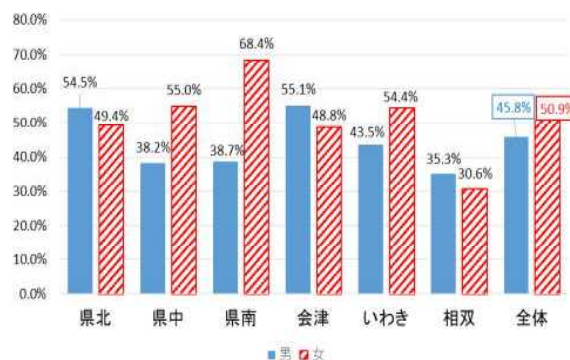


○ 特徴

県北地域と会津地域が高く、相双地域が低い。

イ 地域別・男女別着用率

地域	着用		非着用		着用率	
	男	女	男	女	男	女
県北	42	41	35	42	54.5%	49.4%
県中	34	61	55	50	38.2%	55.0%
県南	12	13	19	6	38.7%	68.4%
会津	43	40	35	42	55.1%	48.8%
いわき	27	37	35	31	43.5%	54.4%
相双	12	11	22	25	35.3%	30.6%
全体	170	203	201	196	45.8%	50.9%



○ 特徴

県全体の着用率は、女性の着用率が男性より高い。
また県南では、女性が男性を大きく上回っている。

ウ 警察署別着用率

警察署名	第1回	第2回	第3回	第1回からの増減(ポイント)	警察署名	第1回	第2回	第3回	第1回からの増減(ポイント)
福島	22.0%	30.0%	44.0%	22.0	会津若松	18.0%	22.0%	26.0%	8.0
川俣	35.0%	50.0%	55.0%	20.0	会津美里	60.0%	60.0%	65.0%	5.0
福島北	40.0%	43.3%	53.3%	13.3	猪苗代	55.0%	55.0%	55.0%	0
桑折	80.0%	80.0%	80.0%	0	喜多方	43.3%	50.0%	53.3%	10.0
伊達	35.0%	40.0%	45.0%	10.0	会津坂下	70.0%	70.0%	80.0%	10.0
二本松	25.0%	35.0%	45.0%	20.0	南会津	60.0%	65.0%	70.0%	10.0
県北(小計)	36.3%	43.1%	51.9%	15.6	会津(小計)	44.4%	47.5%	51.9%	7.5
郡山	28.0%	32.0%	38.0%	10.0	いわき中央	26.0%	30.0%	46.0%	20.0
郡山北	36.7%	43.3%	46.7%	10.0	常磐	50.0%	45.0%	45.0%	-5.0
本宮	40.0%	40.0%	55.0%	15.0	いわき東	50.0%	50.0%	56.7%	6.7
須賀川	36.7%	36.7%	43.3%	6.6	いわき南	43.3%	46.7%	50.0%	6.7
田村	60.0%	53.3%	56.7%	-3.3	いわき(小計)	39.2%	40.8%	49.2%	10.0
小野	35.0%	30.0%	55.0%	20.0	南相馬	16.7%	6.7%	23.3%	6.6
石川	40.0%	40.0%	50.0%	10	双葉	5.0%	30.0%	35.0%	30.0
県中(小計)	38.5%	39.0%	47.5%	9.0	浪江	—	—	—	—
白河	10.0%	23.3%	40.0%	30.0	相馬	40.0%	35.0%	45.0%	5.0
棚倉	55.0%	60.0%	65.0%	10.0	相双(小計)	20.0%	21.4%	32.9%	12.9
県南(小計)	28.0%	38.0%	50.0%	22.0	全体	37.0%	40.3%	48.4%	11.4

- 双葉警察署浪江分庁舎は、調査対象者が少ないため、調査対象から除外しました。
- 14署、2分庁舎が着用率10ポイント以上向上を達成した。

(3) 反射材用品等の種類別着用状況

373人中317人 反射材用品等を使用

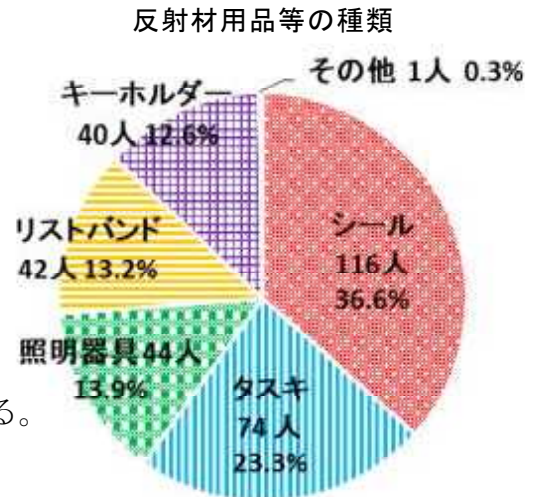
124人 あらかじめ組み込まれた用品を利用
(両方を利用している人もいる。)

ア 反射材用品等を使用していた317人の内訳

- ・ シール 116人 (36.6%)
- ・ タスキ 74人 (23.3%)
- ・ 照明器具 44人 (13.9%)
- ・ リストバンド 42人 (13.2%)
- ・ キーホルダー 40人 (12.6%)
- ・ その他 1人 (0.3%)

(バッチ型)

- シールとタスキで過半数を占めている。

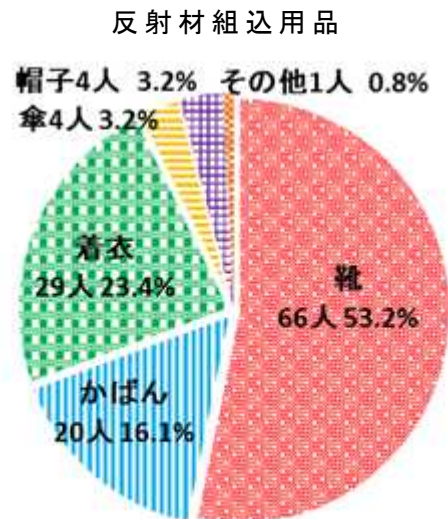


イ 反射材組込用品を利用していた124人の内訳

- ・ 靴 66人 (53.2%)
- ・ かばん 20人 (16.1%)
- ・ 着衣 29人 (23.4%)
- ・ 傘 4人 (3.2%)
- ・ 帽子 4人 (3.2%)
- ・ その他 1人 (0.8%)

(飼い犬のリード)

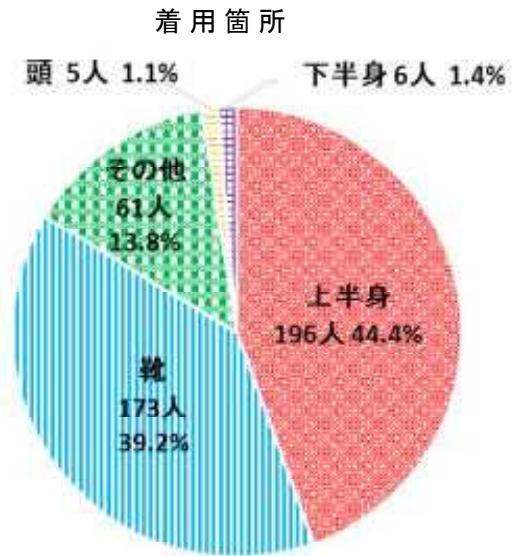
- 靴が過半数を占めている。



ウ 反射材用品等の着用箇所

- ・ 上半身 196人
- ・ 靴 173人
- ・ その他（持ち物等） 61人
- ・ 下半身 6人
- ・ 頭 5人

○ 上半身が最も多く、次いで靴が多い。

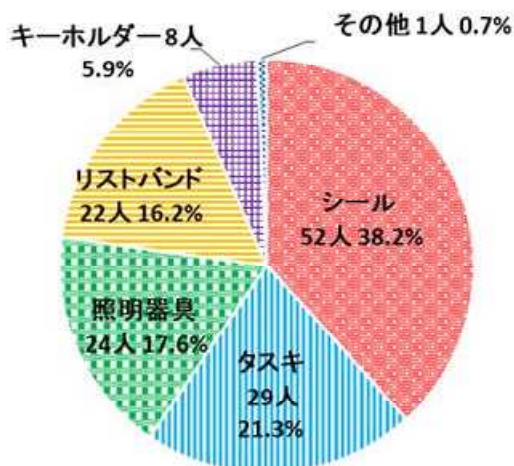


エ 反射材用品等の種類別・男女別

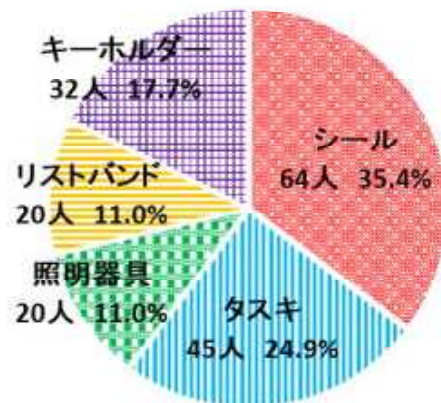
反射材用品	男	女	計
シール	52	64	116
タスキ	29	45	74
照明器具	24	20	44
リストバンド	22	20	42
キーホルダー	8	32	40
その他	1	0	1

※ その他は「バッチ型」

反射材用品(男性)



反射材用品(女性)

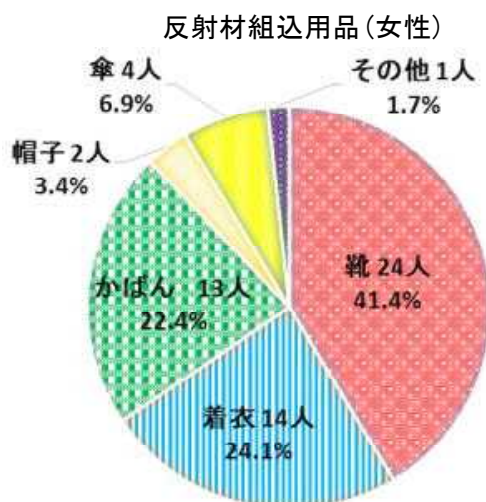
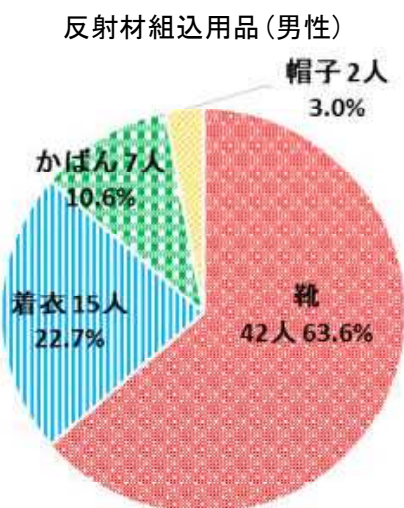


○ 特徴

男女ともシールとタスキで過半数を占めている。
 女性は男性に比べ、キーホルダーの占有率が高い。

オ 反射材組込用品別・男女別

反射材組込用品	男	女	計
靴	42	24	66
着衣	15	14	29
かばん	7	13	20
傘	0	4	4
帽子	2	2	4
その他	0	1	1



○ 特徴

男性は靴のみで約6割を占めている。
 女性は靴と着衣で約6割を占めている。

※ 統計の割合については四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。